

令和5年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

| | | | | |
|--------|----|---------|---|---|
| 学 年 | 1年 | 教科 書 | 地 理 (新しい地理) 東京書籍 歴 史 (新しい歴史) 東京書籍 地図帳 (中学校社会科地図) 帝国 | 地理 地理の資料集 (とうほう) 歴史 歴史資料集 (とうほう) 問題集 地理・歴史 (明治図書) |
|--------|----|---------|---|---|

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。1年では、地理的分野の半分と歴史的分野の室町時代までを学習します。中学校社会科の教科としての目標は以下の4点です。

- ① 広い視野に立ち、社会に関する関心を高めること。
- ② 資料に基づいて多面的、多角的に考察すること。
- ③ 日本の国土と歴史について理解と愛情を深めること。
- ④ 国際社会を生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと。

三分野の学習を通して、これらの達成を目指していきます。

2 学習方法

社会科には各単元の目標があり、そこから各時間の学習のねらいや目標が設定されています。単元を貫く学習課題や、各時間の学習課題を意識しながら授業を受けましょう。そのねらいにせまるために、講義だけでなく、自分で考えたり、自分の考えを述べたり、友達と交流したりする場面に授業内に設定していきます。考えたこと、資料から読み取ったこと、グループで協働して行う課題解決の際の意見など、積極的に表現をしていきましょう。

- ① 自分の理解状態をつかむこと。
学習する時に大切なことは、いつも「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせることです。プリントやノートの脇に言葉の意味をメモしたり、教科書で調べたりして基礎的知識を確実にしていくことが大切です。
- ② 学習したことどうしの関係をつかむこと。
学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。イメージマップを使って知識をつなげていく学習も効果的です。
- ③ 今の社会との関わりを考えること。
私たちが「今生活している土地」や、「今に至るまで」の先人の歩みについて社会科では学習します。私たちが今生活している社会とのかかわりを考えながら学習してください。

3 家庭学習

社会科では予習よりも復習に力を入れてほしいと思います。

- ① **すぐに復習する習慣をつける。**
・1回の授業の内容はそれほど多くはありません。その日や週のうちに学習したところを自分に合った形で復習しましょう。
- ② **問題集を繰り返し解く。**
・試験前は問題集を繰り返し解きましょう。解く→間違える→間違えたところの復習を教科書やノートでする。→解きなおす。のサイクルを作ってみてください。
- ③ **単元ごとのレポート課題などを真剣に取り組む。**
・1つの単元を学習した後に実施するレポート課題等、一生懸命取り組んでみてください。その単元のよい振り返りになりますし、改めて学習したことを関連付けながら復習ができるはずです。

4 学習内容及び評価について

| 月 | 学 習 内 容 | 試 験 | 評 価 観 点 | 評価の場面・方法 |
|---------|---|-------|--|--|
| 4 | オリエンテーション < 地理 > 1 世界の姿 | 中間試験 | <p>○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。</p> <p>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</p> <p>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</p> <p>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</p> <p>・未到達な内容についてどれだけ努力でたか</p> | <p>・ワークシートへの記入状況</p> <p>・授業態度（発表等の積極性、忘れ物の状況）</p> <p>・提出物の状況</p> <p>・学習課題への取り組み方</p> |
| 5 6 | 2 世界各地の人々の生活と環境 | 期末試験 | | |
| 7 | < 歴史 > 【古代までの日本】 1 世界の古代文明と宗教のおこり | | | |
| 9 10 | 2 日本列島の誕生と大陸との交流 3 古代国家の歩みと東アジア世界 【中世の日本】 1 武士の台頭と鎌倉幕府 | 中間試験 | <p>○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。</p> <p>・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。</p> <p>・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。</p> <p>・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。</p> <p>・思考を問う問題を解くことができたか。</p> | <p>・記述式テストの状況</p> <p>・レポート作成状況</p> <p>・グループワークの取り組み状況</p> <p>・自分の考えの発言、記入状況</p> <p>・提出物の状況</p> |
| 11 | 2 東アジア世界との関わりと社会の変動 | 期末試験 | <p>○各種の資料(教科書・資料集・地図帳・その他の資料)を適切に選択し、効果的に活用できる。</p> <p>・資料の活用方法を身につけることができたか。</p> <p>・さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。</p> <p>・調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。</p> <p>・調査した内容を工夫してまとめることができたか。</p> | <p>・資料を活用した各テストの状況</p> <p>・提出物の状況</p> <p>・ワークシートへの取り組み状況</p> <p>・授業内の学習課題への取り組み</p> |
| 12 | < 地理 > 第3章世界の諸地域 1 アジア州 | 学年末試験 | | |
| 1 | 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 | | | |

| | | | | |
|---|----------|-----|---|-----------------|
| 2 | 4 北アメリカ州 | | できたか。 | |
| | 5 南アメリカ州 | | ・資料を読みとる問題を解くことができたか。 | |
| 3 | 6 オセアニア州 | 次年度 | 知識・理解 ○社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。 | ・定期テスト ・小テスト |

4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

| |
|--------------|
| A→十分満足している |
| B→おおむね満足している |
| C→「B」に達していない |

(2) 評定

上記の3つの観点のA～Cの組み合わせにより、「教科として1～5の評定がつきます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。